

救マーク認定（更新）申請書

<p style="text-align: right;">平成〇〇年 〇〇月 〇〇日</p> <p>福岡市消防局長</p> <p style="text-align: right;">申請者 住所 福岡市〇〇区〇〇 △丁目△番△号 職・氏名 消防 太郎 印</p>	
事業所名	(株) 〇〇〇〇〇〇
所在地	福岡市〇〇区〇〇 △丁目△番△号 電話 (〇〇〇-〇〇〇〇)
連絡担当者 職・氏名	総務課防災担当 消防 太郎
※受付	AED (<input checked="" type="radio"/> 有) ・ 無) 有りの場合 〇器

- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。
- 2 ※印の欄は、AEDの有無以外は記入しないでください。
- 3 救急活動計画書を添えて2部提出してください。

救急活動計画書

1 目的

この計画書は、応急手当普及啓発要綱に基づき、救マーク表示事業所として必要な事項を定め、速やかな応急手当等が実施できる体制を整備することを目的とする。

2 事業所の責務

- (1) 応急手当に関する正しい知識や技術など応急手当等に関する従業員の育成・指導等に努める。
- (2) 当該事業所の責任者は、本計画書を作成(変更)する場合、従業員に対し必要な指示を与える。

3 責任者の業務

当該事業の責任者は、次に掲げる業務を行うこととする。

- (1) 救急計画書の作成及び変更
- (2) 従業員のうち、応急手当実施者、通報連絡者等の指定(別表)
- (3) 従業員に対し救命講習への参加促進
- (4) 通報、傷病者搬送等の訓練
- (5) その他の必要な業務

4 計画書等の保管

申請に係わる関係書類は一括して保管する。

救命講習への参加回数を記入(1年に1回、適宜など)してください。ただし、最低3年に1回は救命講習を受講してください。

5 応急手当の訓練

当該事業所の責任者は、常駐させる従業員に対し、心肺蘇生法・傷病者搬送法・止血法等の消防局が主催する訓練に参加させなければならない。

6 附則

本計画書は、平成 年 月 日から施行する。

記入不要!
救急課で認定した日付を記入します。

事業所の実情に合わせて、項目の加除修正をしていただいても構いません。

事業所名	(株)○○○○○○		新規に認定申請する場合は記入不要ですが、更新申請する場合は必ず記入してください				
認定番号	第 号		認定年月日	年 月 日			
			更新年月日	年 月 日			
従業員数	○○人		講習受講者総人数	○○人			
担当内容	部署名		氏 名		連絡先		
119番通報	○○課	○○係	○○	○○	○○○-○○○○		
	○○課	○○係	○○	○○	○○○-○○○○		
救急車誘導	△△課		△△		△△△-△△△△		
	△△課		△△		△△△-△△△△		
救急隊員誘導	□□課	□□係	□□	□□	□□□-□□□□		
	□□課	□□係	□□	□□	□□□-□□□□		
講習会受講者名簿	氏 名	講習の種類	受講年月日	修了証番号	再講習年月日	部署名	備考
	○○ ○○	普通救命Ⅰ	H○○.○.○○	1111		○○課	
	○○ ○○	普通救命Ⅱ	H○○.○.○○	2222		○○課	
	○○ ○○	上級救命	H○○.○.○○	3333		○○課	
	○○ ○○	応急手当普及員	H○○.○.○○	4444	H○○.○.○○	○○課	
搬送経路及び救急車停車位置		※ 図面等を添付し位置等を示すこと					
備 考		搬送経路・救急車停車位置・AED設置場所がわかる図面を作成してください。					

同人数の名簿が作成されているか確認！人数が多い場合は、別途名簿を作成してください。形式は何でもOK。

修了証番号が、記入されているか確認！番号が不明・未記入の場合は認定できません。

応急手当普及員の方は、3年毎に再講習が必要です。

※書類は、全て2部ずつ作成して、管轄区域の消防署(救急係)に提出してください。
 東区→東消防署
 博多区→博多消防署
 中央区→中央消防署
 南区→南消防署
 城南区→城南消防署
 早良区→早良消防署
 西区→西消防署

- ※ 担当者等の欄に記載できない場合は、別紙を用いて添付する
- ※ 119番通報担当者とは、従業員から連絡を受け、救急事故
- ※ 救急車誘導担当者とは、119番通報担当者から連絡を受け、することが出来るものをいう
- ※ 救急隊員誘導担当者とは、119番通報担当者から連絡を受け発生している場所へ速やかに救急隊員を誘導できるものをい



福岡市消防局 1階平面図

